

当院外来維持血液透析患者、家族との連携
～連絡ノートを活用方法の見直し～

医療法人社団スマイル クレア焼山クリニック

○河野純子、永谷美子、吉田純子、上野舞、藤井恵子、桐林慶

はじめに

当クリニックでは、二年前より連絡ノートを導入し、キーパーソンとなるご家族と連携が図れるよう日々努めている。

今回、現在の連絡ノートの問題点、改善点を明らかにし、今後の活用方法について検討を行ったので報告する。

対象と方法

対象者 認知症などでコミュニケーションの
取りにくい患者様の、キーパーソン
となるご家族

アンケート対象者数 5名(回収率100%)
(患者内訳: 男性4名、女性1名)

平均年齢(歳) 69.1 ± 12.7

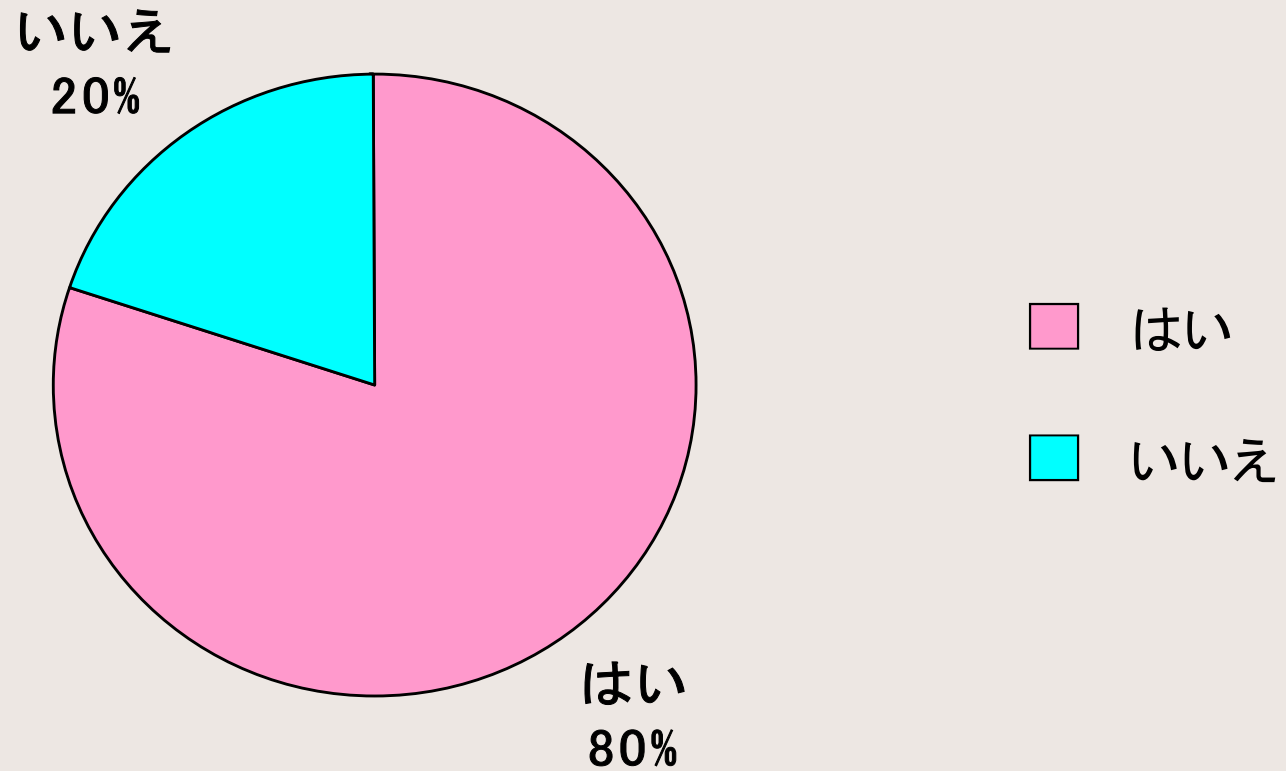
透析歴(年) 3.4 ± 3.3 (0.2~9.9) 平均±標準偏差

調査方法 アンケートによる選択回答方式

結果

[設問1]

連絡ノートは毎回チェックされていますか？



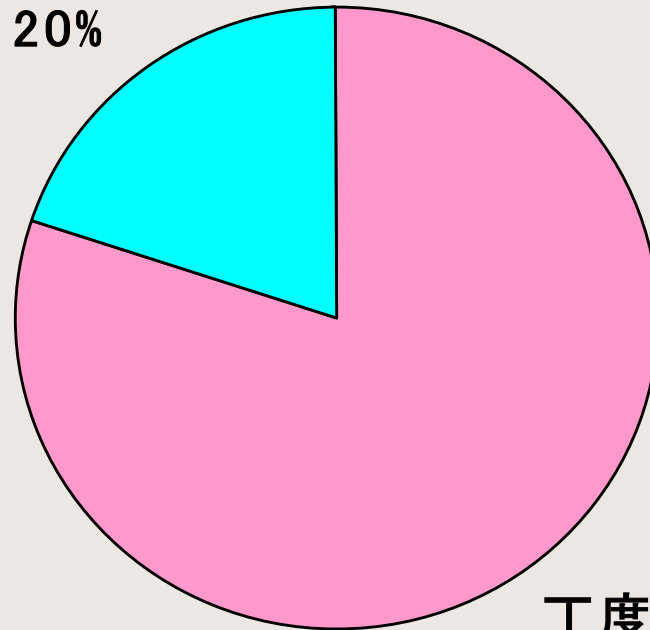
[設問2]

連絡ノートのサイズはどうですか？

(記入する際、読む

際)

小さい
20%

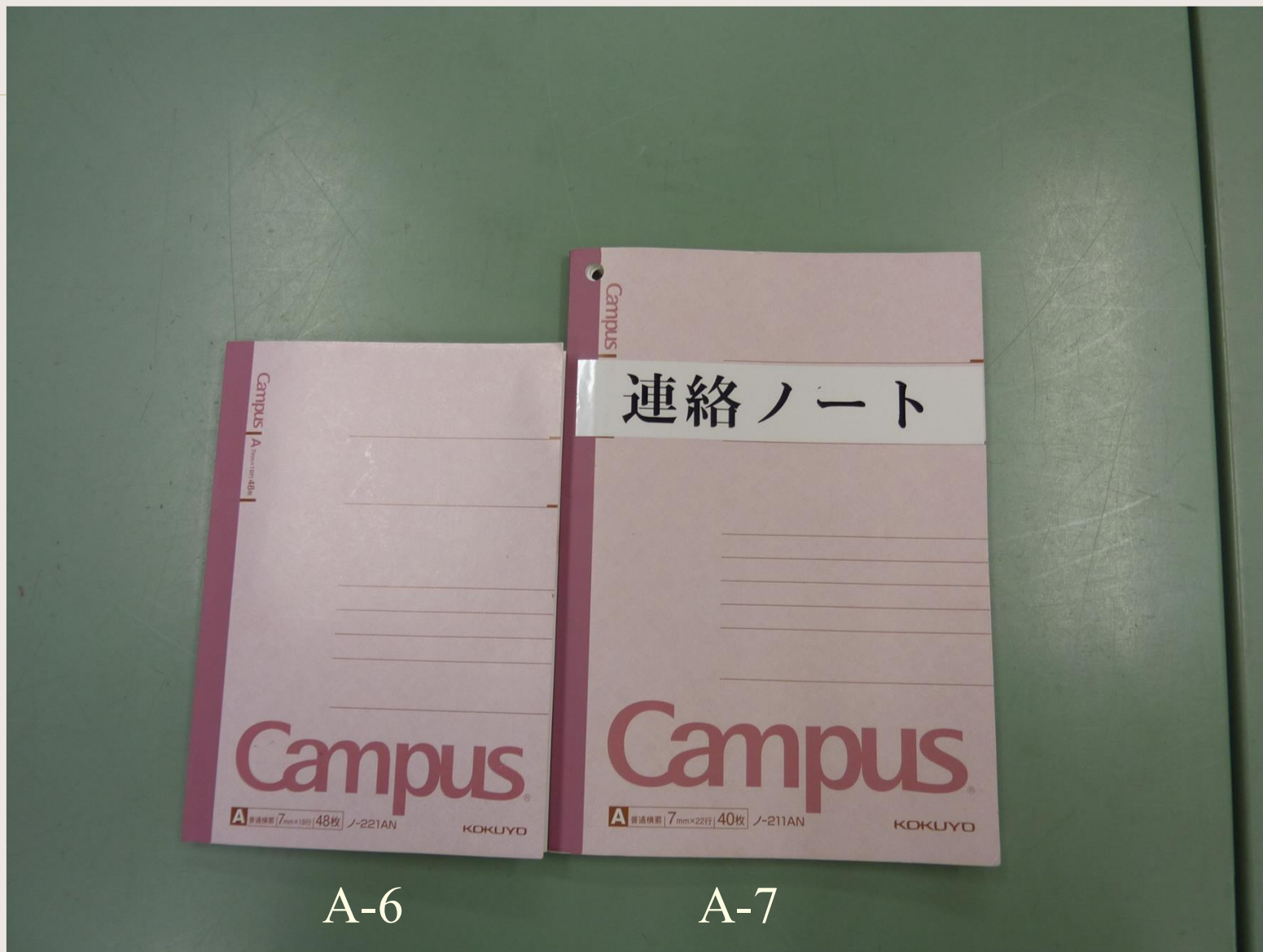


丁度良い
80%

■ 丁度良い

■ 小さい

連絡ノート of サイズ変更

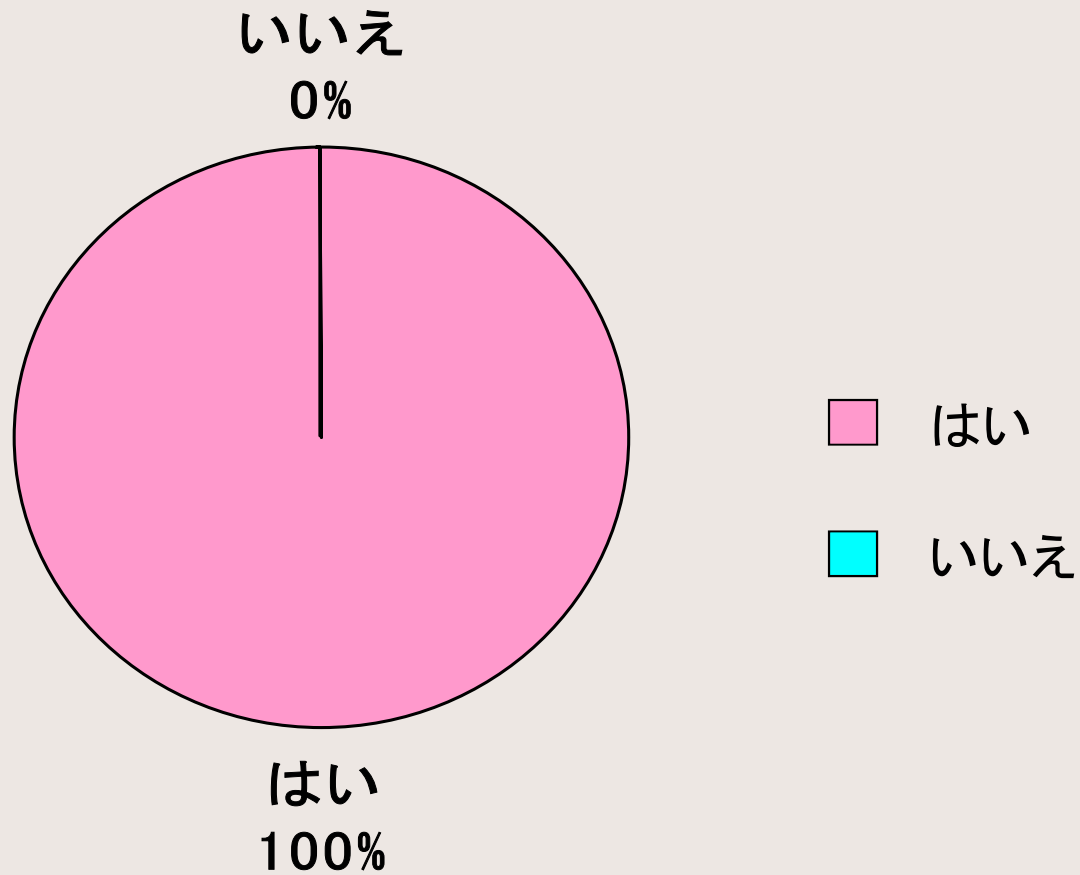


A-6

A-7

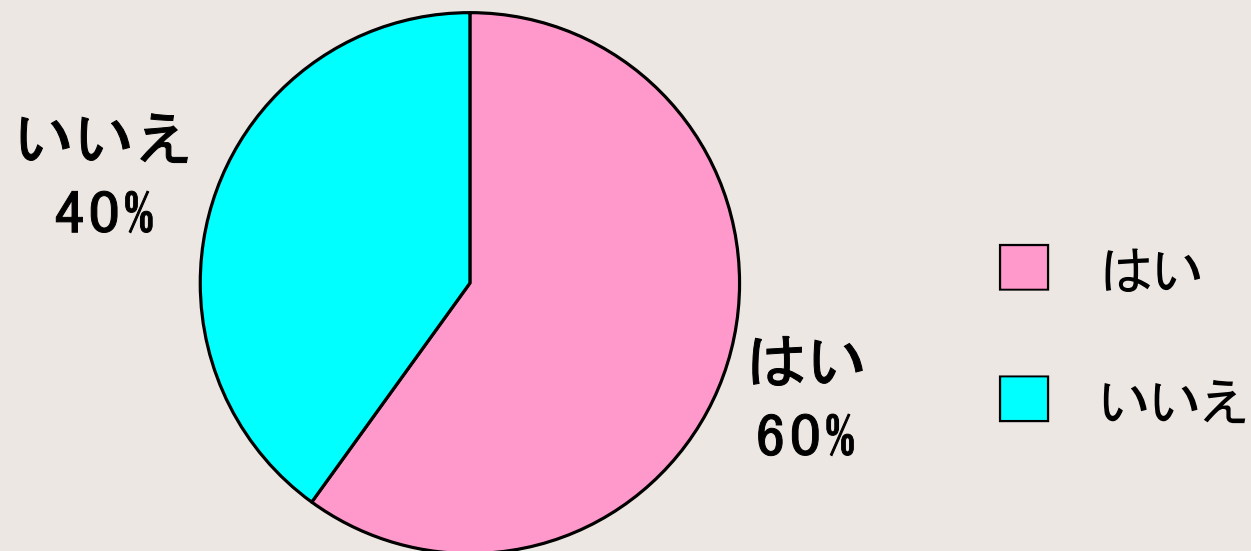
[設問3]

ノートがあることでクリニックに対しての要望等を具体的に伝える手段となっていますか？



〔設問4-1〕

透析中の状態についての情報があつたほうが良いと思われませんか？



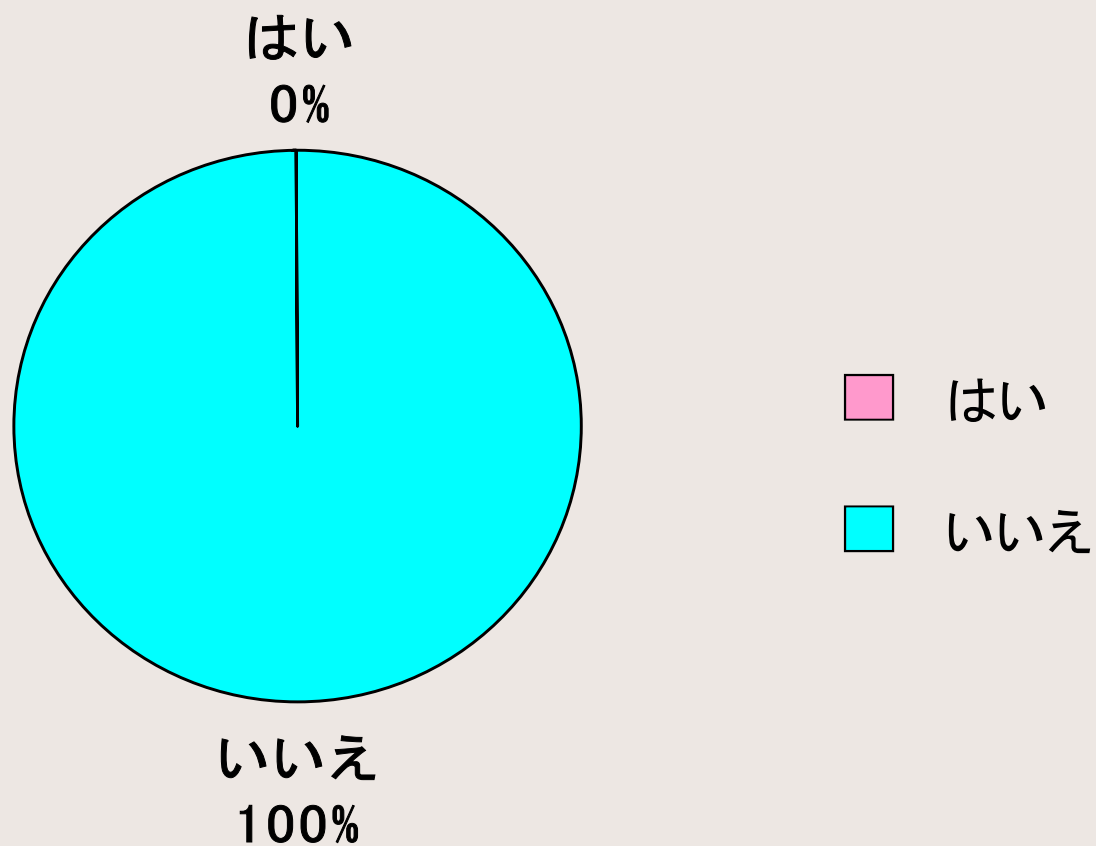
〔設問4-2〕

その際、どんな情報があれば良いと思われますか？
(重複可)

検査結果について	3件
透析時の状態について	3件
内服、注射の変更について	2件
目標体重について	2件
その他	記述なし

[設問5]

今後ノートへの記入を毎回お願いするようになった場合、記述は難しいですか？



考察

連絡ノートが患者様家族とのコミュニケーションツールとして、有効な手段となっていた。

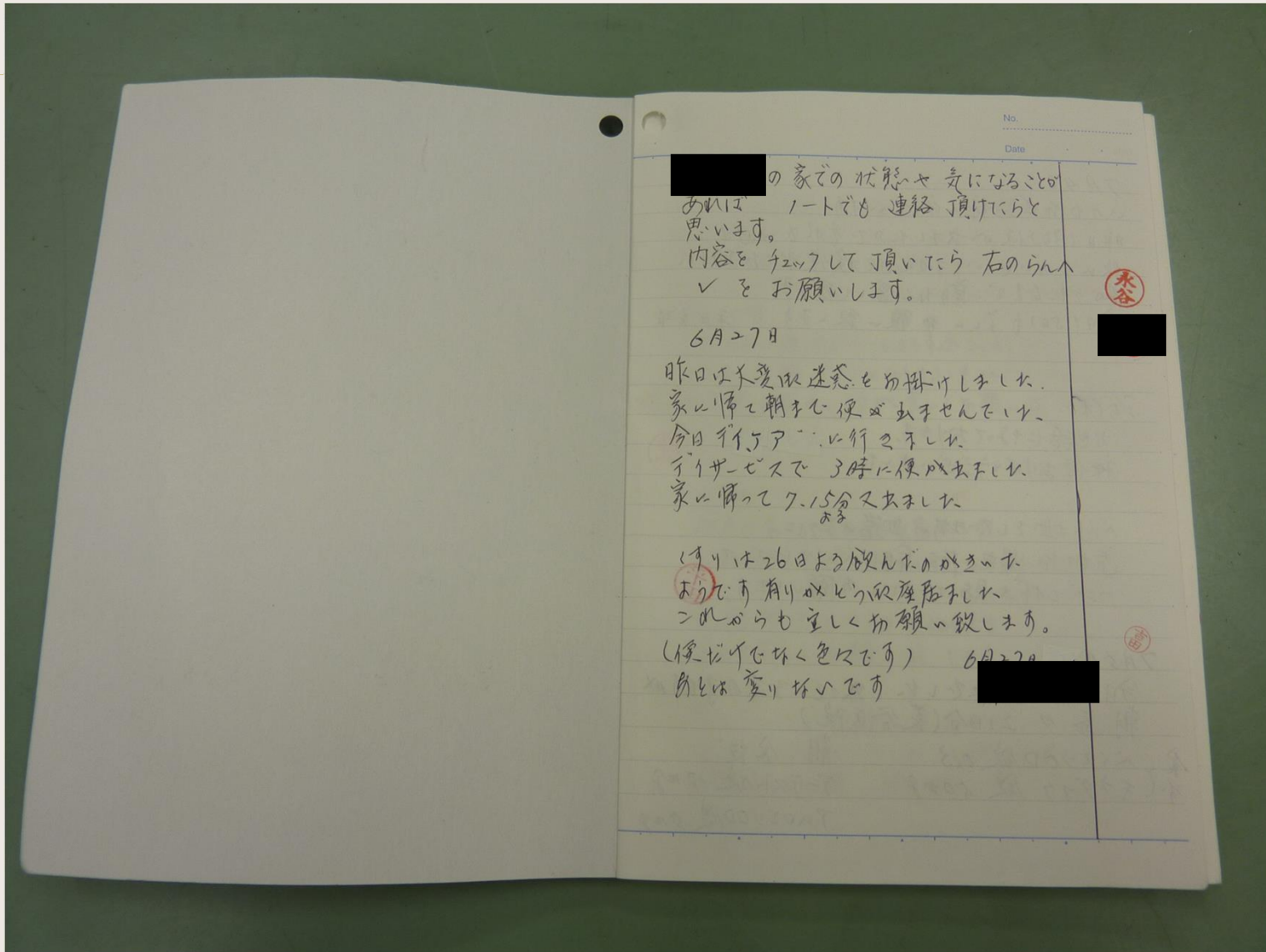
透析中の情報や、より詳細な治療内容の記載を希望されていることが明らかとなった。

今後は、円滑な情報交換が可能な連絡ノートにしていくことで、より一層の連携を深めていきたい。

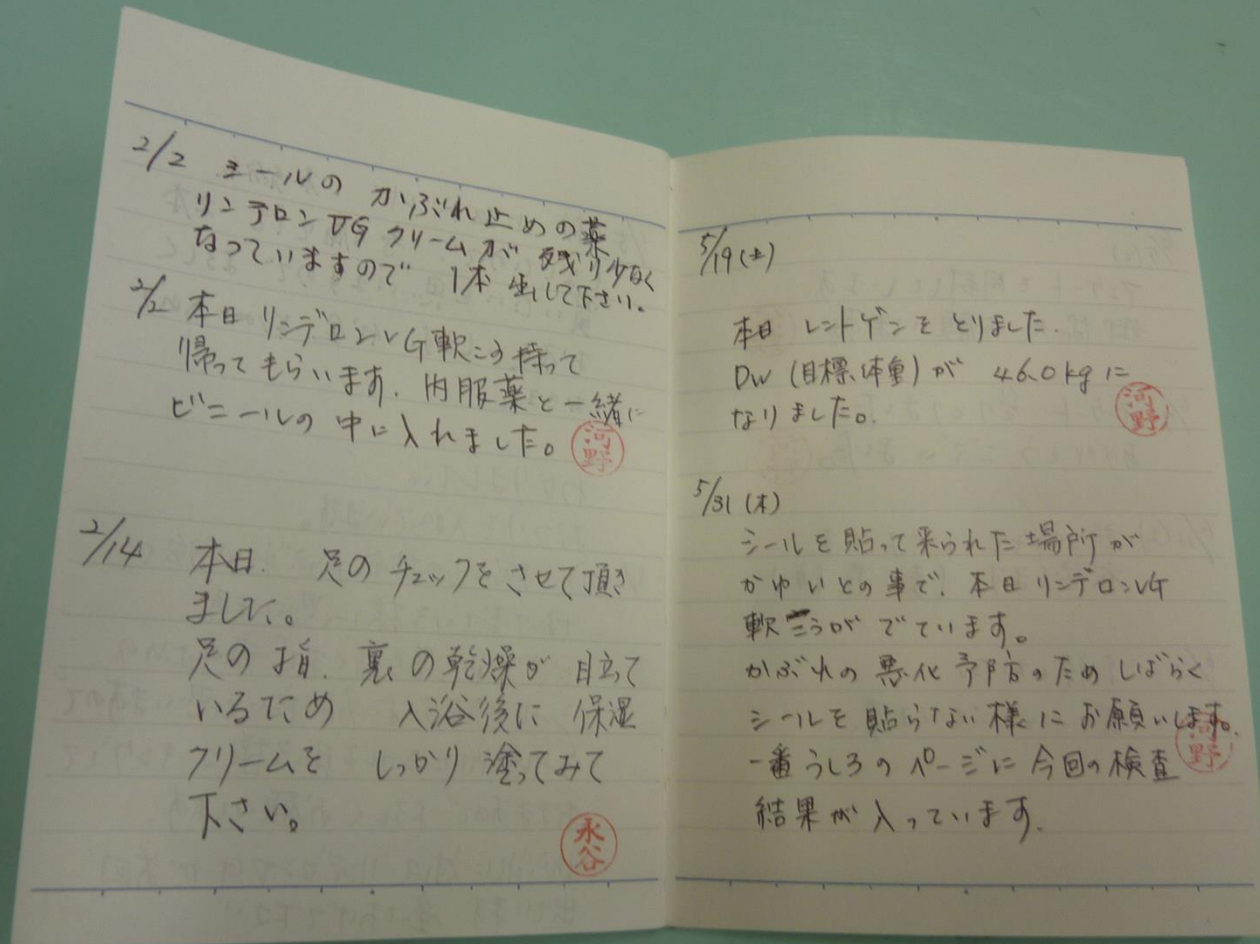
おわりに

家族との連携の一手段として
連絡ノートを活用、情報交換の
重要性を知る良い機会となった。

連絡ノート導入時の一例



現在使用中の連絡ノート 例1



現在使用中の連絡ノート 例2

8/13 (月)

金・土・日(午前)迄便が出ない状態が続きましたので、日(昼・夕)と薬をやすんでみましたところ今朝軟便が出ましたので、朝食後薬を服用しました。薬を止めるのが早すぎたのでしうか。

軟便の時他に痛みが無い場合は、Dロミン(塩化ナトリウム)は内服せず様子を見ていこう。

8/13 HD中 排便オムツ内にクサツ

あり オムツスポンくつ下をバテ交換しています

交換したオムツスポンくつ下のかえと(尿)をお願いいたします。

8/15 (水)

先日はいろいろありがとうございました。便の出る回数は減ってきましたが軟便は続いておりますので、薬の処方をお願いしたいと思っております。

軟便↑アセトは、Dロミンと1cだけ
4日服として仮に頂いてもOKです
胃薬を変更致しました。

本日、透析中 軟便があります。
次回も 交換用のオムツをよろしく
お願い致します。

ビオラミン 整腸剤が 毎食後内服
処方されています。

家族、訪問看護の方との連絡ノートの一例

3/23 お世話になっております。

(水) [redacted] 訪問看護
ステーション [redacted] と申します。

そちらで血糖値を測定されて
いる様ですが、今どのくらいで
経過されているのでしょうか？

お忙しいところ申わけありませんが
よろしくお願ひします。

3/24 いつもお世話になっております。

9:30頃の測定で150~200台の
血糖値となっております。

好川

4/6 お忙しいところ
ありがとうございます。

今後ともよろしくお願ひします

3/24 支払っておきました。
領収書は封筒に入れてあります

好川

5/7(土)

5/10(火) 9:10スタートに
なりました。

9:40~50に入室。

12:30頃、終了になりました
思います。

5/12 新パシヤマ 293g

5/14 パシヤマの件、知らせて頂き
ありがとうございます。

好川